

TOPICS

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース
鈴鹿8耐参戦 見事完走 7/27 SUN 決勝

7/24(木)から7/27(日)、二輪整備同好会は今年も「真夏の祭典」“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースに学生主体のチームとして単独参戦しました。ライダーは今年から新たに北口浩二さんを迎え、児玉勇太さん、古澤基樹さんの3人体制で臨み、気温38℃、路面温度57℃の猛暑の中、70チームが参加した公式予選を見事通過しました。7/27(日)の決勝では突然の豪雨の為、レースが1時間遅れのスタートとなりました。34番グリッドから発進したチームホンダ学園は雨が降ったり止んだりという難しいコンディションで多くのチームが転倒事故などのトラブルに見舞われる中、各ライダーが確実に周回を重ね、160周28位で見事完走を果たしました。学生たちも刻々と変化する天候や路面状況によりタイヤ交換や給油などのピット作業も確実にこなしてライダー達の快走を全力でサポートしました。また学校からも応援ツアーで参加した学生もスタンドで大盛り上がりで、まさにチーム一丸となって勝ち取った「完走」でした。

7/24(木)から7/27(日)、二輪整備同好会は今年も「真夏の祭典」“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースに学生主体のチームとして単独参戦しました。ライダーは今年から新たに北口浩二さんを迎え、児玉勇太さん、古澤基樹さんの3人体制で臨み、気温38℃、路面温度57℃の猛暑の中、70チームが参加した公式予選を見事通過しました。7/27(日)の決勝では突然の豪雨の為、レースが1時間遅れのスタートとなりました。34番グリッドから発進したチームホンダ学園は雨が降ったり止んだりという難しいコンディションで多くのチームが転倒事故などのトラブルに見舞われる中、各ライダーが確実に周回を重ね、160周28位で見事完走を果たしました。学生たちも刻々と変化する天候や路面状況によりタイヤ交換や給油などのピット作業も確実にこなしてライダー達の快走を全力でサポートしました。また学校からも応援ツアーで参加した学生もスタンドで大盛り上がりで、まさにチーム一丸となって勝ち取った「完走」でした。

EVENT
ホンダ鈴鹿工場見学を開催

9月22日(月)、後援会行事として三重県鈴鹿市にある、ホンダの四輪工場の見学に行ってきました。鈴鹿はホンダの主力車種である「フィット」「N-BOX」等が生産されている工場、ロボットを採用した自動化ラインや環境問題に取り組んだ最先端の工場です。



この日も、決算期をむかえた国内向け完成車出荷の為に、生産ラインはフル稼働で見学された後援会の皆様は、初めて見る四輪生産工場に驚いておられました。

EV同好会
2014 Ene-1 GPに挑戦

8月3日(日)、EV同好会は三重県鈴鹿サーキットで開催された「Ene-1 GP」に出場しました。この大会は乾電池40本で鈴鹿サーキットを3周し、その合計タイムで順位を争いますが、ただ速く走るのではなくサーキットを3周走る為の効率良い「エネルギー管理」と高低差40mもある鈴鹿サーキットのコースを走りきる丈夫な車体製作も必要とされる競技です。



今年のメンバーは、車体の軽量化に取り組み、ボディを「Pパネル」というダンボール素材で製作し、従来に比べて11kg軽量化を実現しました。また、フロントタイヤを転がりの良い小型サイズに変更し、「今年こそ完走」を目標に臨みました。

サイクリング同好会
2014 シマノ鈴鹿ロードレース 結果報告

8月23日(土)、24日(日)サイクリング同好会は、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催された、「2014 シマノ鈴鹿ロードレース」に参加しました。この大会は毎年、全国から1,000名以上の参加者で開催される最大のイベントで今年も本校から6名のエントリーをしました。



1日目は全員がエントリーしている「2時間エンデュロ」のところが、午前中からあいにくの雨模様で、レースは度々中断。午後になると、更に激しい雷雨となり、残念ながら「レース中止」となりました。このレースに備えて琵琶湖で練習をしたりと期待していただけにメンバーは落胆していましたが、気持ちを切り替え2日目のレースに臨みました。2日目はコース1周のスプリントレースで、各自が好タイムを出して上位でゴール。ほとんどの学生が今回初参加で、各自の課題や新たな目標を発見した大会となりました。今後は来年のレースに向けて更にレベルUPしてくれる事を期待します。

第1ライダー
児玉 勇太
 (コダマ ユウタ)
 2003年 九州ロードレースST600 チャンピオン
 2005年 ウェストチャレンジカップST600 チャンピオン
 2005年 全日本ロードレースST600シリーズ 31位
 2008年 全日本ロードレースJSB1000シリーズ 17位
 2009年 鈴鹿8耐 予選15位 決勝7位

第2ライダー
古澤 基樹
 (フルサワ モトキ)
 2006年 鈴鹿8耐 総合49位
 2007年 鈴鹿8耐 総合30位
 2008年 鈴鹿8耐 決勝リタイア
 (予選28位 2'13'952)
 2009年 鈴鹿8耐 決勝総合21位
 2010年 鈴鹿8耐 決勝総合36位

第3ライダー
北口 浩二
 (キタグチ コウジ)
 2011年 鈴鹿8耐 予選8位 決勝6位
 2011年 全日本ロードレースJSB1000シリーズ 15位
 2012年 鈴鹿8耐 予選13位 決勝5位
 2013年 鈴鹿8耐 予選11位 決勝44位
 2013年 全日本ロードレースJSB1000シリーズ 20位

雨の中でも確実に周回を重ねるライダー

応援ツアーの学生達

確実にこなすピット作業

念入りに整備する学生達

オフロード同好会
キャンパス・オフロード第2戦 結果報告

8月31日(日)、オフロード同好会は奈良県のウズMSL下市で開催された「キャンパス・オフロード第2戦」に参加しました。午前中の2時間耐久レースでは、エキスパートクラスに出場した高橋君・川崎君チームが4位、小谷君が5位入賞を果たし、フレッシュマンクラスに出場したメンバーも無事完走しました。午後からのスプリントレースには昨年このシリーズで2回優勝している高橋君が3ラップ目にはトップに立ちそのままトップを譲ることなくゴールし、エキスパートクラスの優勝を決めました。



高橋君のコメント
 夏休みに地元で走り込みコンディションを整えてこの日に臨みました。良い結果を残せてうれしいです。

エラコン同好会
Hondaエコマイレージチャレンジ2014全国大会 結果報告

エラコン同好会は、9月27日(土)、28日(日)に栃木県「ツインリンクもてぎ」で開催された、「Hondaエコマイレージチャレンジ2014全国大会」に出場しました。この大会は6月に開催された鈴鹿大会での課題を修正し、この1年間の集大成として、夏休み返上でマシンのセットアップや走行練習に取り組み、万全の体制で臨みました。今年も例年同様3チーム体制で上位進出を目標に学校での最終セットアップも順調に調整出来て、自信を持って現地入りしました。



「大学・専門学校クラス」エントリー90チームで競技がスタートし、3台とも快調に周回を重ねていきます。しかし、5周目で残念ながら1台がマシントラブルでリタイアとなってしまいました。残る2台は最後まで順調に周回を重ねて7周を無事ゴール。結果は、燃費721km/Lで19位と、437km/Lで33位となり目標の10位以内は来年に持ち越しとなりました。また、上位10チームは全て1000km/L以上でレベルの違いも感じた大会となりました。



今年の経験を活かし、下級生を中心に来年こそトップ10を目指します!

新任の挨拶

教務2課
黒田 誠一
 始めて。10月1日付けをもってHGT8Gより赴任してまいりました黒田誠一です。HGTでは量産車の電装系の開発や機種PLなどを担当していました。以前とはまったく違う環境で戸惑いもありますが、前向きに楽しく過ごせればと思っています。
 社会に羽ばたかれる若い皆さんに良いアドバイスが出来るよう頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。

転任の挨拶

教務2課
星 尚文
 11月から本田技術研究所へ異動になりました。ホンダ学園へ赴任後、わからないことが多く、時間的余裕もなく、無我夢中で走ってきたように思います。その間、いつも思っていたことは「何事も、一所懸命に取り組む」ということです。卒業して社会に出ると、様々な困難にぶつかると思います。ぜひ、一所懸命に取り組む、よい成果を得ていただきたく思います。これまでご支援いただきまして、ありがとうございました。

転任の挨拶

教務2課
白上 貴紀
 長いような短いような約10年間でしたが、色々な学生、教職員の皆様に出会え、色々な経験をさせてもらい自分自身の成長も感じながらこの日を迎えられたことを本当に感謝しています。これからは卒業生としてこの学校の益々の発展と学生の皆さん、教職員の皆様の活躍を祈りながら私自身も新たな夢に向かって頑張ります。本当に皆様ありがとうございました。